

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念・基本方針には、事業所設立の趣旨、権利擁護、事業所の役割等の内容が盛り込まれている。理念を明文化し、事業計画に記載されており、外部への周知に努めている。</p> <p>利用児保護者等への周知は契約時に重要事項説明と共に行われ、職員には、採用時研修や職員会議で周知が図られている。</p> <p>法人全事業のパンフレットには、基本方針に基づいた事業内容が分かり易く紹介されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>現在、ホームページがリニューアル中であり周知の対象者が限られている。リニューアル後は理念、基本方針等を記載し、誰でもが閲覧できるホームページ等で広く周知に向けた取組に期待したい。</p> <p>少なくとも年1回は、理念・基本方針の理解と周知状況の確認を、全職員に実施されたい。</p>		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人が運営している事業所ごとに管理者が経営コスト分析し、役員会で全体の経営状態を把握し包括的な分析が行われている。</p> <p>高齢福祉動向と障がい福祉動向の両方から情報収集を行い、要介護高齢利用者の推移と障がい利用児の推移、利用率の分析等を行い、現場側と経営者側が歩調を合わせて経営環境に対応する体制にある。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域高齢福祉のニーズ分析から、新たな福祉サービスへの取組を進めている。組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等、具体的に動く中で見えてきた課題等の検討を行っている。</p> <p>相談等の支援活動を通して、地域の潜在的なニーズの把握に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<p>良い点/工夫されている点： 法人全体で包括的に捉えた中・長期的ビジョンを示している。</p> <p>改善できる点/改善方法： ビジョンはあるものの、事業部全体の中・長期計画が策定されていない。具体的な単年度事業計画を進め ていくためにも、中・長期計画が策定された上で、次に事業計画を策定する流れで運営されたい。 市の介護保険事業計画、障がい福祉総合計画等の動向も踏まえた計画の策定が望ましい。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<p>良い点/工夫されている点： 理念・運営方針に沿った内容で、具体的かつ実施可能な単年度事業計画が策定されている。計画達成のた めに必要な職員像が明確化され、今後の課題も分析されたものとなっている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 上記項目で記載したように、単年度事業計画ありきではなく、中・長期計画を踏まえた単年度計画を策定 されたい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に 行われ、職員が理解している。	b
<p>良い点/工夫されている点： 事業計画は職員に周知し、職員会議等で計画の進捗状況を報告し、職員の理解を深めている。</p> <p>改善できる点/改善方法： 職員が事業計画や予算編成等に参画し、現場の意見等が反映された事業計画が策定されることが望ましい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	b
<p>良い点/工夫されている点： 毎月発行される「ラルゴ新聞」や「お知らせ」で利用者や家族、保護者等に開示できる範囲で事業計画の 情報を提供している。</p> <p>改善できる点/改善方法： 身近なツールを用いて周知に努めているが、現状では限られた事業計画の周知になっているので、事業計 画の全体像の資料等を作成し、より理解を深める工夫に期待したい。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に 行われ、機能している。	b

<p>良い点／工夫されている点： 2ヵ月ごとに行政や利用者家族等の参加で運営推進会議が開催されており、小規模多機能型居宅事業所で取り扱う評価内容に沿って、組織的にサービスの質をチェックしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 介護部門としての評価に留まることなく、放課後等デイサービスの評価も盛り込み、共生型としてのサービスの質の取組を実施されたい。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p>良い点／工夫されている点： 運営推進会議で話し合われた評価結果を分析・検討し、職員間で課題の共有化を図り、改善の取組を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 今後、放課後等デイサービスガイドラインに基づいた事業所全体の自己評価の実施や、今回取組んだ第三者評価等の評価結果から明らかになった課題について、職員参画のもと改善計画を策定し、組織としての取組に期待したい。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 組織図や職務分掌表等で管理者の役割が文書化されており、職員にも周知されている。事業所発行のラロゴ新聞で管理者の役割や方針を表明している。 管理者不在時には同等の役割を果たす職員を置き、職員同士の連携体制が整えられている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 高齢・障がい・児童分野と広く福祉に関わる遵守すべき法令等の研修には積極的に参加し、職員への周知を図っている。必要に応じ、外部講師を招き、職員全員が法令を学ぶ機会を設けている。 管理者として経営に関する研修等にも参加し、必要な法令を運営に活かしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の他事業所との交流会に積極的に参加し、さまざまな事例等の情報を事業所の運営に反映させている。他事業所との人材交流や合同勉強会を行い、地域全体の福祉サービスの質の底上げに努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
13	<p>Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人の基本方針の実現に向けた人員配置を意識して、職員のスキルや適性を把握した上での適切な配置に努めている。</p> <p>事業所の状況を常に把握し、P D C Aサイクルでの運営が業務効率の向上につながっている。</p> <p>職員から出る意見には、その必要性を応じて迅速に対応しリーダーシップを発揮している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p>		
14	<p>Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>看護師、介護福祉士、保育士、栄養士等の専門職を配置し、介護職員が喀痰吸引が出来る研修も受講しており、利用児のさまざまなニーズに対応できる人材が確保されている。</p> <p>職員が積極的に自己研さんに取り組めるよう、研修計画を立て、シフト調整を図り、研修に参加しやすい環境を整えている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
15	<p>Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</p>	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>一定の基準による人事考課制度が整備されている。単年度事業計画に沿った研修参加状況や、研修報告書の提出、職員へのフィードバック等を評価に連動させ、適切な人事管理が行われている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>総合的な人事管理により、職員が自らの将来の展望を描くことが出来、モチベーションアップにつながる取組に期待したい。</p>		
<p>Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p>		
16	<p>Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員勤務データを定期的にチェックし、職員の時間外労働や有休休暇の取得状況等が把握されている。</p> <p>子育て中の職員や家族の介護をしている職員への配慮があり、働きやすい職場環境に取り組んでいる。岐阜県</p>		

ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業の認定を取得している。		
改善できる点／改善方法： 事業の急速な拡大で、労務管理等事務文書が追いついていない所があり、早急に取り組まれない。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
良い点／工夫されている点： 人事考課の個別面接で、個人目標を設定し、目標達成へ向けての支援をしている。 評価チェックシートが用意されており、職員が自身のレベルを把握し、目標達成に必要な研修受講の機会を設けている。		
改善できる点／改善方法：		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
良い点／工夫されている点： 法人として単年度の研修目標、研修課題を明確にし、採用時、新任、中堅、上級、主任、管理者とキャリアに応じた研修が用意されている。 職員に必要な内部研修・外部研修の内容を明示している。また、業務に直接必要としない研修であっても、幅広い知識や人との交流等の自主的研修も推奨している。		
改善できる点／改善方法：		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
良い点／工夫されている点： 少人数でのミーティングを行い、課題の明確化、共有、実践、振り返り等のPDCAサイクルにより、専門性の資質の向上に努めている。 職員一人ひとりのスキルに必要な研修への参加を促し、研修費用の補助や出勤扱いで受講を支援している。		
改善できる点／改善方法： 日常業務の中でのOJTが行われることが望ましい。		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
良い点／工夫されている点： 受け入れ体制の整備はしている。		
改善できる点／改善方法： 地域に福祉関係の養成校が無く、受け入れ実績がない。県内外の養成校に働きかけ、地元出身者の受け入れをアピールするなど工夫した取組に期待したい。		

II-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	

21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<p>良い点／工夫されている点： 事業所が定期的に発行している「ラルゴ新聞」に基本方針や活動内容等を記載し、利用者、家族、保護者、関係者等に配布されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 事業所発行の新聞のみが情報の公表媒体になっている現状にある。現在、法人のホームページがリニューアル中であり、今後は誰でもが閲覧できるように事業計画や事業報告等の公開に期待したい。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 内部監査が定期的に行われており、顧問契約にある税理士から財務上のアドバイスを得ている。 外部監査で専門家のチェックを受け、事業の適正運営に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 地域の情報誌を活用して事業所を紹介したり、市主催の福祉フェスティバルに参加し、地域との交流を深めている。 介護や障がいに関する相談に応じ、地域の人が福祉を身近なものとして捉える活動を積極的に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<p>良い点／工夫されている点： 絵本の読み聞かせ、笑ヨガ、行事等に地域のボランティアを、高齢者、障がい児の区別することなく受入れている。 ボランティア受入れに関する基本姿勢が明文化されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 利用者および利用児の特性やプライバシーに配慮し、どの職員が対応しても同じ姿勢でボランティア受入れができる体制に期待したい。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>市社会福祉協議会の連絡会議に参加し、地域の福祉事業所との連携に努めている。地域の社会資源を活用し、課題解決に向けて関係機関等との連携が図られている。</p> <p>消防署と定期的な交流があり、必要な時に協力を得られる関係が構築されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	Ⅱ-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>町内会に加入し、事業所からの情報を発信している。介護や障がいについての相談窓口の取組が、地域の社会資源の一つとしての役割を担っている。</p> <p>事業所が有する機能を活かして福祉体験プログラムを実施し、地域の人材育成への還元にもなっている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の福祉ニーズの把握に努めており、緊急時等の受入れに対応している。法人の相談支援事業で受入れ困難な相談にも行政、学校、公的機関等と連携し、迅速に対応する体制が整備されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p>		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービスについて共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者尊重の基本姿勢が、倫理規定や事業計画の基本方針に明示され、職員に配布している。</p> <p>採用時研修時に法人の運営理念、倫理綱領について学び、さらに、障がいの基本的理解や専門的知識、支援スキル、児童虐待等の内部・外部研修で理解を深めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>プライバシー保護や虐待防止に対するマニュアルが整備されている。児童虐待については職員の理解や周</p>		

<p>知が徹底されている。</p> <p>リビングの端に設置してあるベッドの利用時には、カーテンでプライバシー確保しつつ見守りする姿勢や、トイレのドアの開閉時に中が見えないようにカーテンで配慮するなどの方法でサービスを提供している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人全体のパンフレットが新しく作成され、写真やイラスト入りのカラー印刷で分かり易い内容になっている。利用希望者の見学や電話相談にも丁寧に対応している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>法人全体を紹介する資料と併せて、利用児と保護者等々に向けた分かり易い内容で、事業所単独の資料提供が望ましい。</p> <p>情報提供の一つであるホームページの早期リニューアルに期待したい。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス開始時は契約書や重要事項説明書を基に説明し同意を得ている。</p> <p>サービス内容にあまり影響をしない変更の場合は、ラルゴ新聞で案内し、大きく変更する内容については文書での通知と口頭でも説明して理解を得ている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>複数の事業所利用を併用している利用児もおり、相談員、学校、他事業所との連携を密に行っている。</p> <p>他の事業所へ移行する場合には、サマリーを作成しスムーズな引き継ぎに努めている。一時サービスを中断していた利用児が再開するケースにも適切に対処している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足度の向上に努めている。</p>		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足度の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>半年に一度、自由記述による家族等アンケートを実施し満足度調査を行っている。</p> <p>職員は、日頃から保護者等と気軽に話ができる関係づくりを意識し、利用者満足度を把握しやすい環境に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>高齢者、障がい児、家族、保護者等、それぞれの満足度の尺度の違いを認識し、共生型サービスとしてのメリット、デメリットを分析し、より利用者満足度の向上になる取組に期待したい。</p>		

<p>今後、ガイドラインで示されている保護者向け放課後等デイサービス評価票を活用した取組にも期待したい。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p>良い点／工夫されている点： 保護者等と信頼関係を構築し、通信機器の交流サイトを活用し、保護者からの意見や要望等には随時対応している。 送迎時に直接話す機会がある。苦情などの意見には、迅速に対応し家族にはフィードバックし、職員間では引き継ぎ表で情報を共有している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 通信機器の交流サイト利用での相談窓口の管理方法やルール等の整備が望まれる。 苦情対応の第三者委員等を配置し、さらなる苦情解決体制の整備に期待したい。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a
<p>良い点／工夫されている点： 職員を担当制にし、相談や意見が述べやすい環境を整えている。 利用時の連絡帳を活用し、相談や意見等を記載することができる。 相談があった時には、居室の1つを相談室として使用し、内容が聞かれることのないように配慮している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<p>良い点／工夫されている点： 苦情相談対応マニュアルが整備されており、内容によって事業所内で迅速に対応するものと、法人の顧問や相談役も交えた対応が必要なものとケースバイケースで対応している。 保護者対象にした自由記述アンケートに記載された内容は速やかに対応している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 安全、感染症、環境等の委員会が設置されており、職員は必ず何らかの委員会に所属し、各委員会できざまな視点によるリスクを検証している。 勉強会等でリスクマネジメントに関する事例検討をしたり、ヒヤリハットや事故報告を職員会議で取り上げ、発生原因を検証し再発防止を話し合っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 感染環境委員会が設置されており、感染症マニュアルの整備と勉強会を開催している。</p>		

<p>加湿器や空気清浄機の使用、来訪者の手指消毒やマスクの装着を促す等、法人全体で徹底した感染症対策をし、感染症予防に対する職員の意識が高い。</p> <p>送迎車にノロウイルス対応のキットを備え、発生時の対応体制を整備している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に 行っている。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>防災に関するマニュアルを整備し、防災計画書に基づき、年2回の避難訓練が行われており、消防署との連携も図られている。</p> <p>緊急時の連絡先ファイルを送迎時に携帯し、いつでも利用児の保護者と連絡が付く体制を整備している。</p> <p>3日分の備蓄品を確保しており、発電機も2台購入し、災害に備えている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>夏休み等の利用時間が長くなる期間に、高齢者と利用児が一緒になり、避難先、避難ルートの確認、避難方法等の避難訓練の実施に期待したい。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化 され福祉サービスが提供されている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>業務手順が作成されており、職員の標準的な実施方法が確立している。</p> <p>職員によってサービスの差異が生じないためにも、全体会議だけでなく、少人数によるミーティングで業務確認を行い、統一性あるサービスの実施に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立して いる。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用児の状況や保護者等のニーズを把握し、学校の長期休暇の前に、利用児担当の職員と送迎ドライバーと会議を行い、通常と異なる支援の確認をしている。</p> <p>見直した支援方法は、高齢者介護を主としている職員とも共有し、共生型サービスの円滑な運営を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>見直しの時期や検証方法等、見直し手順が文書化されていることが望ましい。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定してい る。	a

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>医師、看護師、保育士、児童指導員、介護福祉士等、多職種連携による情報を基に個別支援計画が策定されている。</p> <p>具体的なニーズは送迎時に聞くことが多く、利用児や保護者等の意向を確認し、個別支援計画に反映させている。</p> <p>重度障がい児の入浴のみの利用希望等、他の事業所で受入れ困難なサービスにも可能な限り応える姿勢で対応している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
43	<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保護者の個別面談は希望日程を調整して実施し、家庭での様子や要望等と把握したうえで、半年ごとの中間評価と、年度替わりのモニタリングで個別支援計画を見直している。</p> <p>学校とも連携し、サービス担当者会議等で評価、見直しをし、次の支援計画に反映させている。</p> <p>見直しの支援計画は職員会議で報告され、具体的な変更内容等は職員間で情報を共有する引継ぎノートで確認する仕組みができています。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>介護職員であっても、その日の利用児サブ担当の時には、保護者との連絡帳を記入し、利用児と保護者の理解に努めている。</p> <p>定期的な職員会議でサービス実施状況の情報が共有されている。</p> <p>送迎担当者とも、その日の連絡事項が記載されたノートで情報共有が図られている。</p> <p>記録はパソコンと紙媒体の両方で対応している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
45	<p>Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個人情報記載された書類等は書棚で施錠して保管されている。</p> <p>パソコン内の情報は個別IDとパスワードで管理し、記録管理責任者が設置され特定の者だけが使用可能となっている。</p> <p>個人情報保護に関するマニュアルが整備され、家族とは「個人情報提供同意書」を取り交わしている。</p> <p>記録保管5年、破棄書類はシュレッダーを使用するなどの管理体制ができています。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>現場職員に利用者の個人情報の取り扱いに関する留意点等を徹底させるためにも、定期的な研修の機会があることが望ましい。</p>		

評価細目の第三者評価結果 (障害者・児福祉サービス版)

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重

	第三者評価結果
A① A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>こだわりの強い利用児の自己決定を尊重し、本人の帰りたいと思うタイミングで送迎を行い、家族とは了解の上で柔軟な対応を心がけ、職員間で利用児の特性を共有している。</p> <p>家庭や学校では良い子であろうとすることで、自傷行為に及んでいる子の心情に寄り添い、デイに来た時には敢えてスケジュールで縛ることなく利用児の気持ちを尊重し、時には暴言や暴力等の行為も職員が受け止め支援をしている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-1-(2) 権利侵害の防止等

	第三者評価結果
A② A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	b
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>運営推進会議で行う評価作業の一環として職員の行動チェックを行っている。特に職員の言葉遣いに留意し、虐待防止等に取り組んでいる。</p> <p>家庭環境を考慮して、子どもの日常生活全般の支援に取り組んだケースもある。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p> <p>高齢者サービス利用者の比重が多い中での共生型運営であり、今後、障がい児の権利についての認識も持ち、職員全員で、障がい者差別解消法ガイドライン等を共有し、高齢者、障がい児の共生型サービスの充実した取組に期待したい。</p>	

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本

	第三者評価結果
A③ A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>利用児一人ひとりがカードに自分のしたい事、する事を目標として書き、自立に向けての意識づけをさせ、職員や他の利用児と共有し、目標が実践出来ている時には言葉にして褒めている。</p> <p>来た時の「ただいま」、帰る時の「さようなら」の挨拶や持ち物は決められた場所に置くなどが習慣化されている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p> <p>利用児の自立のための支援を、どの職員も意識して取組めるよう情報の共有化に期待したい。</p>	

A④ A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>小規模多機能型居宅サービスの運営がされている場所を活用しての共生であり、祖父母が孫と一緒にいて、それを職員が取り持つなど、事業所内は三世代の大家族の雰囲気があり、共生型ならではの環境下でコミュニケーションが円滑に行われている。</p> <p>小型犬2匹をセラピー犬として飼っており、高齢者と障がい児のコミュニケーションに一役買っている。夜は職員が犬の世話を引き受けることでセラピー犬の存在が可能になっている。</p> <p>在日外国人の保護者や障害を持つ保護者で、理解が困難な内容の場合、他方の保護者に伝える方法でコミュニケーションを図っている。</p> <p>保護者とやり取りしている連絡帳もコミュニケーションの一環になっている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
A⑤ A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>学校、医療関係者との連携で、母子を短期入所として受入れたケースや、生活相談員と連携し、社会資源を活用して生活の立て直しを図る支援をしたケース等、子どもの最善の利益を保証する姿勢で職員が相談等を適切に行っている。</p> <p>相談内容を個別支援計画等へ反映させている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
A⑥ A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>共生型の利点を十分活かし、利用児が行事に相応しい飾りつけをしたり、高齢者と一緒に行事を盛り上げる役割を担っている。</p> <p>買い物体験プログラム、ウサギの世話、花壇の花や菜園の管理、おやつ作り等、日中活動は高齢者と一緒に行うことができること、利用児のみで行う事を柔軟かつ多様な支援で利用児の療育と成長につなげている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
A⑦ A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>放課後等デイサービスと小規模多機能型サービスの共生型事業の円滑な運営をめざし、保育士、児童指導員、発達支援管理者等の障がい児支援を主とする職員と、小規模多機能型の介護職員と連携を図り、常に、連絡帳や引継ぎシートで利用児の情報を共有している。</p> <p>対応困難な利用児を受入れ、サービス担当者会議で検討し、学校、警察、保護者等との協力で、支援を継続している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A-2-(2) 日常的な生活支援

	第三者評価結果
A⑧ A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a
良い点/工夫されている点： 送迎要員が確保されているが、利用児の通学校が各地域に点在しており、下校時が重なると迎え時間の調整に苦慮することがあり、送迎要員以外の職員の協力体制で取組んでいる。 栄養士による食事管理が適切に行われ、調理専属の職員が配置され、高齢者と同じメニューであるが、同じ食材で子どもが喜ぶ調理の工夫や、家庭の事情に配慮して弁当にして持ち帰らせることもある。 排泄は見守りや声かけをし、過度な支援は控え、自立を尊重している。	
改善できる点/改善方法：	

A-2-(3) 生活環境

	第三者評価結果
A⑨ A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a
良い点/工夫されている点： トイレは車椅子で利用できる十分な広さが確保されている。必要に応じて便器に乗せる補助便座の用意もある。 駐車場から施設や事務所への移動する通路は厚手ビニールシートで覆い、寒冷地としての環境整備がされている。 セコムの導入で夜間の安全管理の対応や、家具等には転倒防止対策が講じられている。	
改善できる点/改善方法：	

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

	第三者評価結果
A⑩ A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a
良い点/工夫されている点： 現在の利用児には機能訓練より生活訓練が必要とされ、買い物でお金の計算をする体験や、職員と一緒に高齢者の食事配膳を手伝ったり、事業所で飼育しているウサギの世話等、生活訓練に重点を置いている。	
改善できる点/改善方法：	

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

	第三者評価結果
A⑪ A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
良い点/工夫されている点： 隣接している母体法人の医師はフットワークが良く、常に利用者児の健康について相談できる体制にあり、健康管理のマニュアルも整備されている。 利用児のその日の健康状態は連絡帳で確認し、保護者と情報を共有し、家庭環境も考慮した健康管理に努めている。	
改善できる点/改善方法：	

A⑫ A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 現在、医療的支援を必要とする利用児はいないが、母体法人の医師、看護師等との連携や事業所に複数の看護師職員が配置されており、適切な医療的支援が可能である。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-2-(6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
A⑬ A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 法人の基本方針のひとつに、地域との関わり方の重視を挙げており、地域企業の生産工場見学を実施し、社会参加と学習につなげている。 地域の100円ショップでの買い物や、障害者施設のパンの移動販売で好きなパンを購入する等の行為が学習につながっている。 普段はリビングの一角にある机で宿題等をしているが、落ち着いて学習する場所として居室を提供する支援もある。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
A⑭ A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 地域の人や消防署と連携、協力体制を整え、地域での生活が孤立することないように支援を行っている。 利用児のみならず家族も含めた地域生活の課題を把握し、関係機関と対策に努めている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
A⑮ A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	b
<p>良い点/工夫されている点： 法人主催の夏祭りには模擬店を出し、職員と利用者児と保護者等の参加で盛大に行われる。 職員は保護者からの相談に24時間対応で応えている。情報機器の交流サイトを活用した意見交換の場も設けてある。 定期的にラルゴ新聞を届け、情報を提供している。 連絡帳にはその日の支援内容を記載し、保護者と共有し、相談にも回答している。 個別面談の日程は保護者の希望を取り、調整し顔を見て話す機会を設け、家族との相互理解を図っている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法： 事業の変更に伴い、現在ホームページのリニューアル中であり、保護者等が適切な情報をタイムリーに入手できる環境に期待したい。</p>	

A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援

	第三者評価結果
A⑯ A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a
良い点/工夫されている点： 職員会議では、介護職員が利用児の支援を理解し、利用児対応の職員が介護の支援を理解するなど、高齢者と障がい児の区別なく情報を共有し、共生型サービスのメリットを活かしている。 不穏な時にはクールダウンできる個室を確保している。	
改善できる点/改善方法：	

A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援

	第三者評価結果
A⑰ A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	評価外
良い点/工夫されている点： 評価外	
改善できる点/改善方法：	
A⑱ A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	評価外
良い点/工夫されている点： 評価外	
改善できる点/改善方法：	
A⑲ A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	評価外
良い点/工夫されている点： 評価外	
改善できる点/改善方法：	

A-5 県独自項目

A-5-(1) 職員の援助技術の向上

	第三者評価結果
A⑳ A-5-(1)-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。	b
良い点/工夫されている点： 研修計画が、採用時、3ヵ月から1年未満の新任研修、中堅研修、上級研修、主任研修、管理者研修とキャリアに応じた研修計画が策定されている。 研修費用は、受講費、交通費、宿泊等、職員福利厚生として支給され、職員の質の向上に積極的に後押し、研修機会は出来るだけ均等になるように配慮している。 研修報告書等の提出や、内部伝達講師、成果等は人事考課へ反映させている。 職員には順次、強度行動障害支援の研修に参加し、発達支援の理解を深める研修計画がある。	

改善できる点／改善方法：

どの職員も、子どもの障がいの特性を理解し、支援技術の統一性と向上に期待したい。

A-5-(2) IT技術や知識の修得

	第三者評価結果
A② A-5-(2)-① 利用者の社会生活に必要となるIT技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。	非該当
良い点／工夫されている点： 学校でもパソコンを使うことがあり、年齢に応じたタブレットの操作方法は状況に応じて支援し、機器に触れることもある。	
改善できる点／改善方法： 現在、IT技術の習得支援が必要な年齢の利用児はいないが、将来的には検討が必要と認識している。	